

対馬暖流は蛇行して北上 対馬暖流の流量は平年の8割とやや少ない 今後も沿岸水温は平年並で推移

2021年2月中旬に実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。

対馬暖流は、岩内湾沖の暖水渦、石狩湾沖の冷水域を迂回するように流れており、かなり蛇行した流路となっています（図1c）。この岩内湾沖の暖水渦は規模の大小はありますが、2020年4月から継続してみられています。対馬暖流の全流量は約1.0Sv（1Sv=10⁶m³/s）で、例年の8割程度となっています（2月流量の平年値は1.2Sv）。暖流の流量は前年12月から平年よりも少なめで推移しています。

50m深水温は3～6℃で、暖水渦が形成されている岩内湾沖で水温は高くなっています（図1a）。50m深水温偏差は、せたな沖で平年よりも2℃低い地点を除き、ほぼ平年並みです（図1b）。

余市前浜水温は2月上旬では「平年並み」でしたが（※1）、2月の気温は平年並みの予報となっていますので（※2）、沿岸水温は「平年並み」で推移することが予想されます。

※1 <https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyau/suion/index.html>

※2 気象庁HPより1ヶ月予報：<http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/>



余市前浜水温



気象庁1ヶ月予報

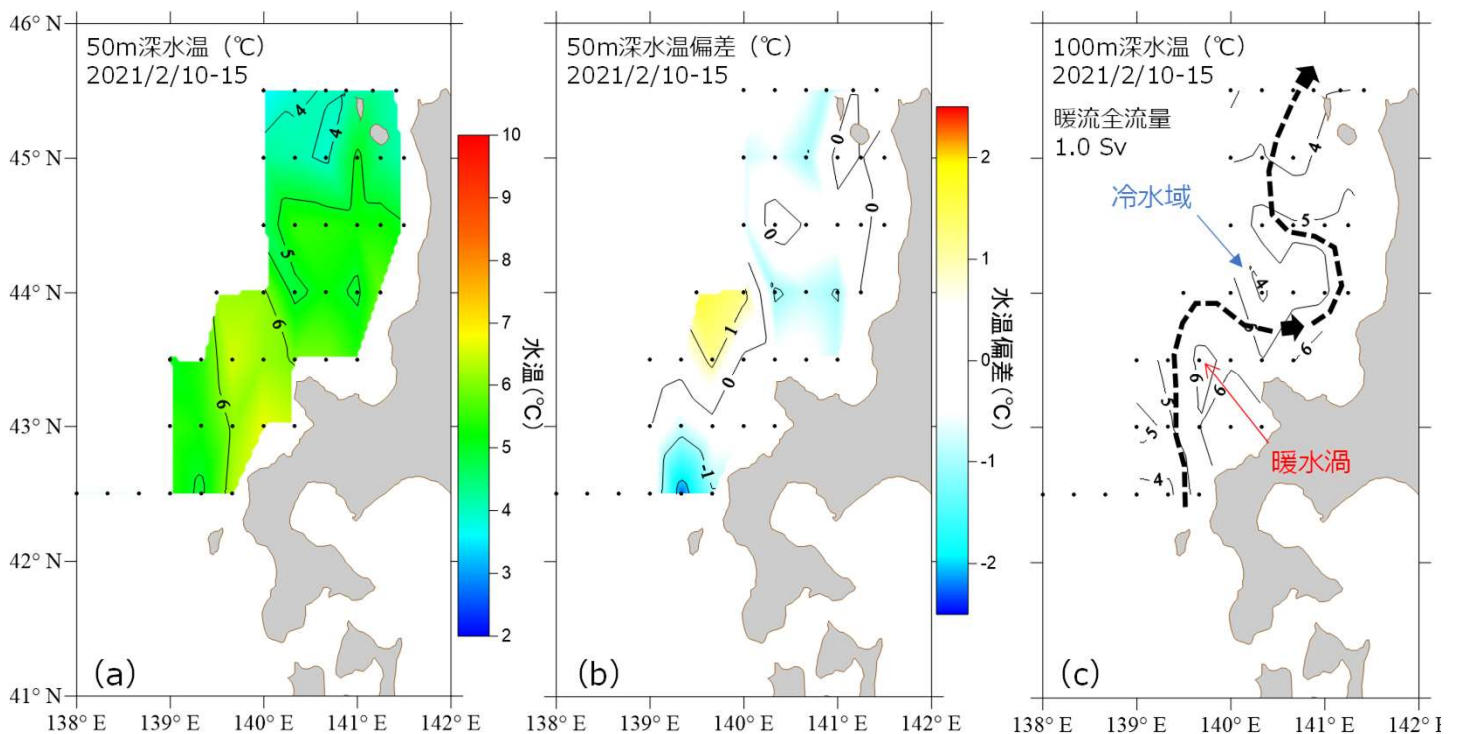


図1 2021年2月中旬における (a) 50m深水温 (b) 50m深水温偏差の水平分布、(c) 100m深水温の水平分布と対馬暖流の流路。水温偏差は過去30年（1989年～2018年）の平均値から算出。流量の単位はSv（=1×10⁶m³/s）。